

2006年5月10日

独立行政法人 情報処理推進機構  
日本電気株式会社  
株式会社 日立製作所  
富士通株式会社

## 「ビジネスグリッド推進コンソーシアム」を設立 同時に経済産業省プロジェクト3年間の成果をWebサイトで公開

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)、日本電気株式会社、株式会社 日立製作所、富士通株式会社は、ビジネスグリッド技術を活用した情報システムの運用を高度化・効率化するための技術研究ならびに関連技術の標準化を推進するため、「ビジネスグリッド推進コンソーシアム」を5月11日に設立します。

本コンソーシアムは、経済産業省のビジネスグリッドコンピューティングプロジェクトに参画していたメンバーが発起人となり、同プロジェクトで開発したビジネスグリッド技術をベースに、①相互接続性確保のための標準化活動の推進、②幅広いユーザニーズを取り込んだ新技術開発、③実践的なグリッド利用拡大などに取り組みます。加えて、ビジネスグリッド技術に関心のあるベンダ、SI事業者、ユーザ企業、研究機関などへ本コンソーシアムへの参加を呼びかけ、広くビジネスグリッド技術の利活用を推進します。

近年、業種・業態を問わず情報システムの重要度が高まっており、これに伴い情報システムの大規模化・複雑化が進展しています。この傾向は今後もますます加速すると考えられており、今後は情報システムの運用をさらに高度かつ信頼性の高いものに改善していくことが求められています。グリッドコンピューティング技術の応用はこのような課題を解決する有望な策の一つとして期待されており、ビジネスグリッド技術の開発やその有効性の実証を目的として、経済産業省主導でビジネスグリッドコンピューティングプロジェクトが2003年度から2005年度末まで実施されました。

このプロジェクトでは、海外の動向等も踏まえながら、①基幹ビジネスに耐えうる高信頼性・安全性を備えたグリッドコンピューティング技術の開発、②実用化を見据えユーザ企業と連携した実践的な実証実験、③相互接続性の確保に向けた戦略的な国際標準化などを進めてきました。

また、ビジネスグリッド技術の世界的な普及と同技術を適用した情報システムの実現を図ることを通じて、情報システムによるサービスの品質や新規サービス提供のスピード向上、さらには情報システムの導入や運用コストの低減などを実現するビジネス基盤を提供することを目指して様々な活動を推進してきました。この成果を市場に広く普及させ、開発した技術を有効に活用していくためには、更なる継続的な活動が必要であると考え、このたび新たに「ビジネスグリッド推進コンソーシアム」を設立したものです。

加えて、本コンソーシアム設立に伴い、3年間のビジネスグリッドコンピューティングプロジェクトで開発した成果を Web サイト(<http://businessgrid.ipa.go.jp/>)で公開します。公開するソフトウェアの機能、特長については別紙をご参照下さい。

なお、本コンソーシアムは、5月11日、12日の両日、東京国際フォーラムにおいて開催される「Grid World 2006」において、ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクトにおいて開発したミドルウェアを活用した災害復旧システムに関するデモンストレーションを実施します。

### 【設立目的】

ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクトにおいて開発されたビジネスグリッド関連技術の早期普及のため、技術提供者、サービス提供者、サービス利用者それぞれの立場から、その成果の普及・促進活動を行い、ビジネスグリッド市場の発展に寄与する。

### 【活動概要】

- ・グリッドビジネスの早期立上げを目的としたビジネスグリッド成果の普及、ユーザの利活用推進
- ・海外のグリッド標準化団体等との連携による国際ルール作りへの貢献(標準化推進)および相互接続の維持・発展
- ・セミナーやイベントの開催による参加企業への情報提供

### 【体制、組織】

総会：会員により構成される。議長は、会員の中から選出する。本コンソーシアムの活動などについて審議を行う。

幹事会：独立行政法人 情報処理推進機構、日本電気株式会社、株式会社 日立製作所、富士通株式会社、および各 WG の主査によって構成される。本コンソーシアム活動方針などを総会に建議し、コンソーシアム活動を運営する。

WG：幹事会の下にWGを設置する。各会員は、WGに対し委員登録を行う。主査は互選とし、各テーマごとに審議を行う。

- ・ 利用技術 WG(主査：株式会社 日立製作所)：  
ユーザ事例の研究、最新技術動向の紹介
- ・ 標準化 WG(主査：富士通株式会社)：  
GGF/OASIS活動報告と提案検討、標準技術実用化に向けた検討開発
- ・ 広報普及 WG(主査：日本電気株式会社)：  
イベントの企画/実施(成果普及発表会等)

事務局：独立行政法人 情報処理推進機構内に置く。

### 【会費】

- ・原則として会費は無料。

本コンソーシアムに関する詳細は以下のURLをご参照下さい。

URL : <http://businessgrid.ipa.go.jp/consortium/> (5月11日 10時公開)

## ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクト公開物一覧

### 業務定義作成支援ツール

ビジネスグリッドに投入する業務定義を簡単に作成するためのツール。新規に業務を定義する際に、実際に動作が確認された類似の業務定義を再利用できるようにしている。

### グリッド管理エージェントSDK

運用管理製品や機器等のIT資源を、ビジネスグリッドミドルウェアと接続するアダプタを開発するための Software Development Kit。

### 構成管理機能SDK

上記のIT資源をビジネスグリッドミドルウェア上で、実資源として管理するモジュールを開発するための Software Development Kit。

### ACS参考実装

ビジネスグリッドで使っている業務定義(ZAR)を投入する際の文書形式・インタフェースをGGFでACS(Application Contents Service)仕様として策定しており、そのサンプル実装を提供。

### WS Agreement参考実装

ビジネスグリッドで使っているIT資源に対する要求記述をGGFでS-Agreement仕様およびJSDL仕様として標準策定しており、そのサンプル実装を提供。

### CDDL参考実装

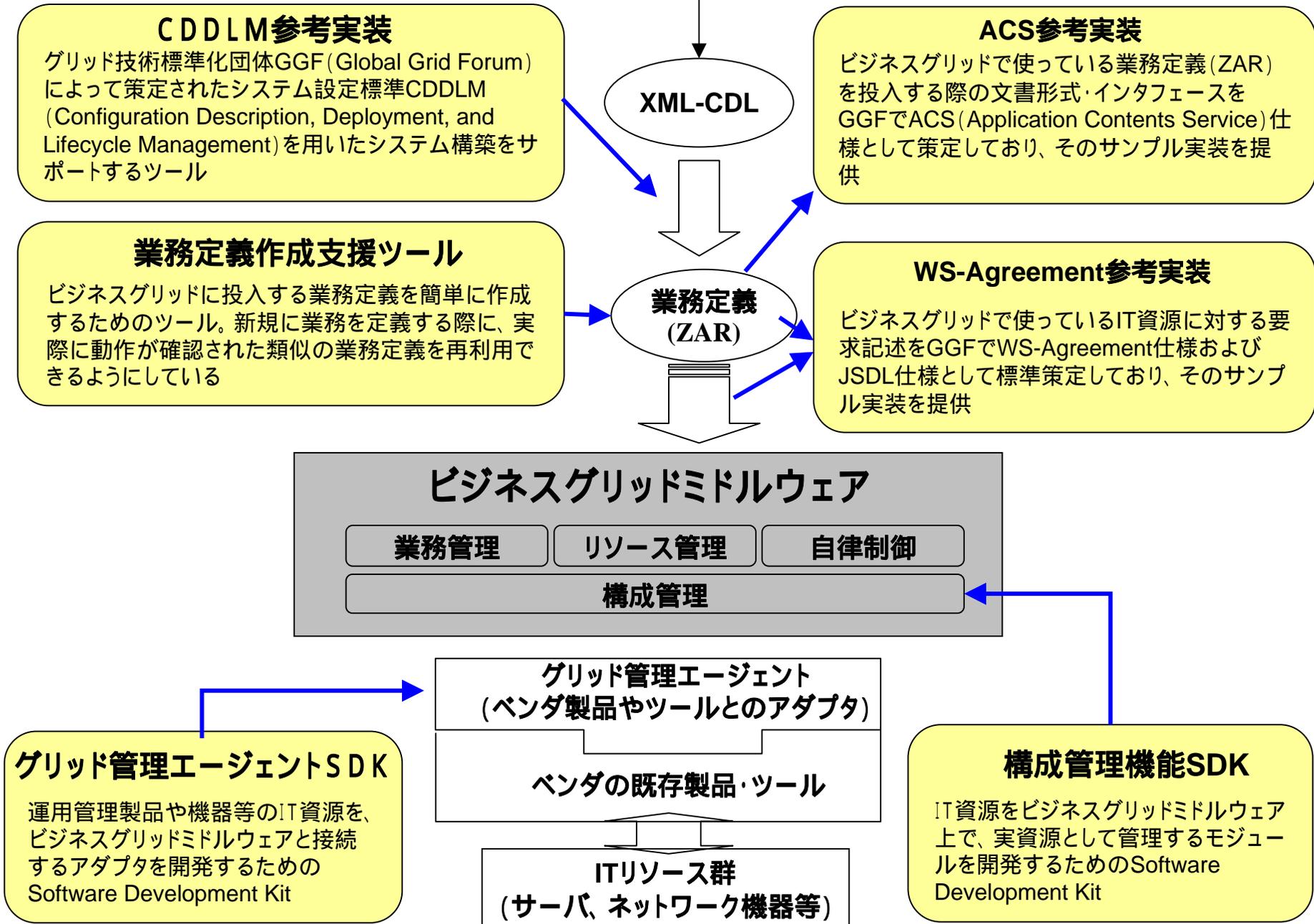
グリッド技術標準化団体GGF(Global Grid Forum)によって策定されたシステム設定標準CDDL(Configuration Description, Deployment, and Lifecycle Management)を用いたシステム構築をサポートするツール。

### WS Reliability

2004年11月に発表した、OASIS標準の一つであるWS-Reliabilityの参照実装の更新版。

以上

## CDDLML準拠の設定記述



---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---